

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】令和3年10月28日(2021.10.28)

【公表番号】特表2021-500874(P2021-500874A)

【公表日】令和3年1月14日(2021.1.14)

【年通号数】公開・登録公報2021-002

【出願番号】特願2020-519382(P2020-519382)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/13	(2006.01)
C 1 2 N	15/63	(2006.01)
C 1 2 N	1/15	(2006.01)
C 1 2 N	1/19	(2006.01)
C 1 2 N	1/21	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)
C 0 7 K	16/46	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	9/10	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 K	49/00	(2006.01)
G 0 1 N	33/53	(2006.01)
C 0 7 K	16/18	(2006.01)
C 1 2 P	21/08	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/13	Z N A
C 1 2 N	15/63	Z
C 1 2 N	1/15	
C 1 2 N	1/19	
C 1 2 N	1/21	
C 1 2 N	5/10	
C 0 7 K	16/46	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	9/10	1 0 1
A 6 1 K	39/395	N
A 6 1 K	39/395	Y
A 6 1 K	49/00	
G 0 1 N	33/53	D
C 0 7 K	16/18	
C 1 2 P	21/08	

【手続補正書】

【提出日】令和3年9月8日(2021.9.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項2】

特異的結合分子がヒト特異的結合分子である、請求項1に記載の特異的結合分子。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 5】

前記断片が、F a b、F ( a b ') 若しくは F v 断片、または s c F v 分子である、請求項 3 に記載の特異的結合分子。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 6】

配列番号 10 に対して少なくとも 85 % の同一性を有するアミノ酸配列を含む、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の特異的結合分子。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

一実施形態では、特異的結合分子はヒト化され得る。分子が治療剤として使用されることになる場合、特異的結合分子のヒト化が所望されてよい。特に有利な実施形態では、特異的結合分子は、ヒト特異的結合分子である。